

子宮頸がん予防ワクチン（サーバリックス[®]）接種をご希望の方へ

～お子様と保護者の方へ～

必ずお読みください

1 子宮頸がんと発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）

- ① 子宮頸がんは、子宮頸部（子宮の入り口）にできるがんで、20代～30代で急増し、日本では年間約15,000人の女性が発症していると報告されています。子宮頸がんは、初期段階では自覚症状がほとんどないため、発見が遅れてしまいます。がんが進行すると不正出血や性交時の出血などがみられます。
- ② 子宮頸がんは、発がん性HPVというウイルスが原因で引き起こされる病気です。子宮頸がんは、発がん性HPVに感染しても多くの場合、感染は一時的でウイルスは自然に排除されますが、感染した状態が長い間続くと、子宮頸がんを発症することがあります。発がん性HPVに感染してから発症まで数年から十数年かかります。
- ③ 発がん性HPVには特別な人だけが感染するのではなく、多くの女性が一生のうちに一度は感染するごくありふれたウイルスです。
- ④ 発がん性HPVには15種類ほどタイプがあり、その中でもHPV16型、18型は子宮頸がんから多く見つかるタイプです。日本人子宮頸がん患者の60%からこの2種類の発がん性HPVが見つかっています。サーバリックス[®]はこの2つのタイプの感染を防ぐことができます。

2 子宮頸がん予防ワクチン（サーバリックス[®]）について。

- ① サーバリックス[®]は接種時に発がん性HPVに感染している人に対して、ウイルスを排除したり、発症している子宮頸がんや前がん病変（がんになる前の異常な細胞）の進行を遅らせたり、治療することはできません。
- ② ワクチンを接種した後もすべての発がん性HPVが防げるわけではないので、早期発見するために子宮頸がんの受診が必要です。市区町村が実施する子宮頸がん検診は20歳以上を対象として毎年、実施されているので、ワクチンを接種しても20歳過ぎたら定期的な子宮頸がん検診を受けましょう。
- ③ 次の方は接種を受けないでください。

●明らかに発熱している方（通常37.5℃を超える場合）。 ●重い急性疾患にかかっている方。

●サーバリックス[®]の成分によって過敏症（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応含む）をおこしたことがある方。

●その他、かかりつけ医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方。

3 次の方は接種前に医師にご相談ください。

- ① 血小板が少ない方や出血しやすい方。
- ② 心臓血管系疾患、腎臓・肝臓疾患、血液疾患、発育障害など基礎疾患がある方。
- ③ 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱の見られた方。
- ④ 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方。
- ⑤ 過去に免疫上の異常を指摘されたことのある方、もしくは近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑥ 妊娠あるいは妊娠している可能性のある方（3回の接種期間中を含む）。

4 サーバリックス[®]の効果について

① サーバリックス[®]の接種対象者は10歳以上の女性です。サーバリックス[®]の予防効果がいつまで続くかについて現時点で成人女性では、最長6.4年間（平均5.9年間）まで続くことが確認されています（海外臨床試験成績）。

② 将来サーバリックス[®]の追加接種が必要となる可能性もありますので、今後得られる情報にご留意ください。

5 予防効果のためには3回接種が必要です。

① 3回接種しないと十分な効果が得られません。 ② 3回接種の途中で妊娠した場合には、接種は継続できません。

6 サーバリックス[®]の主な副反応

●頻度10%以上：かゆみ、注射部位の痛み・赤み・腫れ、胃腸症状、筋肉の痛み、関節の痛み、頭痛、疲労

●頻度1～10%未満：発疹、じんましん、注射部分のしこり、めまい、発熱、上気道感染

●頻度0.1～1%未満：注射部分のぴりぴり感、ムズムズ感

●頻度不明：失神・血管迷走神経反射（息苦しい、動悸、気を失う）があらわれることがあります。

※重い副反応としてまれにアナフィラキシーショック（血管浮腫・じんましん・呼吸困難）があらわれることがあります。

接種後1週間は症状に注意し、気になる症状があるときは医師に相談してください。

7 ワクチン接種に伴う健康被害の救済制度について

ワクチンなど適正に使用したにも関わらず、その製品を介した感染や副反応などにより入院が必要な程度の疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う「生物由来製品感染等被害救済制度」という公的な救済制度があります。このほか、健康被害については町の加入している総合損害賠償保険の対象になります。

8 接種後の注意

接種後に重いアレルギー症状がおこることがあるので、接種後少なくとも30分は接種場所で安静にしてください。

接種後は接種部位を清潔に保ち、接種後丸1日は過度な運動を控えましょう。接種当日の入浴は問題ありません。